



求人・募集

永山フェスティバル企画運営委員

企画運営委員会＝4月～令和8年3月(12月・1月を除く)の第1水曜日午後7時30分～9時[第1回は4月2日(水)]、永山フェスティバル＝9月中旬消費生活センター講座室(ベルブ)企画の提案、開催当日の運営などD1010642☎電話で、永山フェスティバル実行委員会事務局☎(337)6661へ

公民館市民企画講座実施団体

地域や生活の課題を取り上げた講座・講演会を企画してみませんか？公民館は市民の皆さんの学習やステップアップのきっかけづくりを応援します。

多摩市公民館市内登録団体で、登録内容に応じた活動実績のある団体(政治・宗教・営利団体、連続5回

目の応募となる団体は不可)講師謝礼の支払いまたは会場の提供(講座の回数は5回まで)。保育付き実施も可能(要相談)。実施時期は7月～令和8年3月備考4月28日(月)に永山公民館でヒアリングを実施(午前9時～午後5時の間で、所要時間45分程度。要予約)。申請結果は内容審査後に通知。募集要領は4月4日(金)～18日(金)に、永山・関戸各公民館で配布。申請書は公式ホームページからダウンロード可D1016785☎4月4日(金)～18日(金)に、直接持参で、申請書を、永山公民館へ☎永山公民館☎(337)6661、関戸公民館☎(374)9711

令和7年度防衛省・自衛官

●幹部候補生

対管理職を目指す方試験日1回目＝4月12日(土)・13日(日)、2回目＝6月14日(土)、3回目＝10月11日(土)受付期限1回目＝4月4日(金)、2回目＝6月6日(金)、3回目＝9月26日(金)

●航空学生

対パイロットを目指す方1次試験日9月20日(土)・27日(土)受付期限8月29日(金)

●一般曹候補生

対部隊の中核を担う隊員を目指す方1次試験日1回目＝5月17日(土)～25日(日)、2回目＝9月13日(土)～21日(日)、3回目＝11月29日(土)～12月4日(木)受付期限1回目＝5月7日(水)、2回目＝9月2日(火)、3回目＝11月21日(金)

●自衛官候補生

対任期制自衛官を目指す方受付期限年間を通して受け付け

【共通事項】

備考応募資格などの詳細は、自衛隊府中分駐所☎<https://www.mod.go.jp/pco/tokyo/fuchu/index.html> 参照D1002481☎自衛隊府中分駐所☎・FAX042(365)5011・☎recruit17-tokyo-ea@inet.gsdf.mod.go.jp



コミュニティセンターから

申問は各館へ。申し込みの記載がないものは当日直接会場へ

貝取こぶし館☎(389)4196

●こぶし館文化祭2025〔6月7日(土)・8日(日)開催〕の出展作品

¥団体＝600円、個人＝300円備考

5月17日(土)午前10時30分からの説明会に要出席(代理人可)申込期間4月1日(火)～20日(日)

●福祉なんでも相談

日4月7日(月)午後1時30分場調理室

内福祉に関する総合相談

●元気チェック

日4月10日(木)午後1時30分場ホール

内軽い運動と血圧などの測定

愛宕かえで館☎(375)2990

●JAZZ&ワインコンサート

日3月30日(日)午後1時30分～3時30分場ホール定40人¥500円(入場料)

申直接、愛宕かえで館へ



テレビ・映画で出会う街 多摩



多摩市の本丸 多摩市役所でのドラマロケがついに実現！

かれこれ1年ほど前。たまロケに届いた「企画書」に書かれたオリジナルドラマのストーリーと、ロケ場所に対する制作スタッフの熱い思い。これらに大いに魅力と期待を感じたたまロケは「このチャンスを逃してなるものか！」と市役所経済観光課に相談を持ち掛け、市役所内ロビー、窓口・カウンターから屋上まで、各登場場所の使用可否・受け入れ条件確認などがすぐに行われ、製作スタッフに対してロケハン(撮影候補現場の下見)を提案することができました。

その結果、監督から「多摩市役所の外観・ロビーなどのたたずまいがイメージに最も近い！」

との嬉しいコメント。この勢いで、他のロケ場所も多摩市が多く選ばれ、「LINK FOREST」および付近道路、定番ロケ地の「ゆうゆう橋」などでも撮影されました。

こうして、市役所本庁舎で令和6年7月～8月の日曜日3日間を使ってロケ撮影が行われました。その他の撮影も10月にはすべて撮り終え、無事クランクアップしました。

ロケ撮影支援作品情報

「未来の私にブッカマされる!？」

突然現れた謎のオジサンは、30年後の自分だった!？

NHK総合で令和6年10月～11月に各回15分・全32話で放送されました。

たまロケーションサービス(通称「たまロケ」)は、市と協働で、ロケ誘致活動を行っています。

毎月100本前後かかってくるロケ関係の問い合わせは、「どこで?いつ?何撮りたいの?」この3つの質問から始まります。そして、次のステップに行くために、「とにかく、『企画書』と『脚本』を送ってください!」というお願いをするのが、ロケ受付窓口の日常です。

今回はこの流れの中で、たまロケにとってエポックメイキングなロケ撮影支援となった作品をご紹介します。



☎たまロケーションサービス☎(400)1706・FAX(400)1707・☎office@tamaloc.com・<https://www.tamaloc.com/>

